

榮ある日

喜びの裡に

涙を秘めて

磐女卒業式

既報警城高等女學校では明十八日午前十時より卒業證書授與式を行ふが受賞者は(優等)大井川八重 大川節子 大塚澄子 郡司榮子 佐藤晶 佐藤シヅエ 鈴木秀子 田中サイ 筒井米子 永山葉満子 森英子 山本マサ

(四ヶ年級長勳) 渥美利子 鶴沼スサヨ 佐藤シヅエ 森英子 山本マサ

(四ヶ年級皆勤) 赤坂照子 赤津貞子 渥美利子 阿部秀子 鶴沼スサヨ 大河原トシ 大木隆子 大須賀トキエ 大塚澄子 賀澤志津枝 片寄富恵 金子トシ 菊地ユキエ 栗田幸江 小林榮 小松タツ 坂本孝子 佐藤晶 佐藤カネ 四家利子 柴崎雪江 鈴木季子 鈴木ミチヨ 高萩アサ子 高橋トク 瀧シモ 戸田潔子 中村泰 永峰榮子 新田綾子 林和代子 端山トシ 松井シゲ 松崎員 松本勇美 松本キヌミ 村上千枝子 森英子 山本マサ 吉田アキ 吉田都子 吉田英子 若松幸江

(校友會功勞者) 安孫子

飯田淑子 磯上チヤウ 大河原トシ 加藤菊枝 草野信子 草野富士 鯨岡トシ子 櫻庭富美 柴崎雪江 白土喜恵 瀬谷徳子 永峰榮子 西山淑子 比佐明子 戸來綾子 前田シメエ 村上千枝子 山野邊ふち 吉田泰子等

飯田淑子 磯上チヤウ 大河原トシ 加藤菊枝 草野信子 草野富士 鯨岡トシ子 櫻庭富美 柴崎雪江 白土喜恵 瀬谷徳子 永峰榮子 西山淑子 比佐明子 戸來綾子 前田シメエ 村上千枝子 山野邊ふち 吉田泰子等

飯田淑子 磯上チヤウ 大河原トシ 加藤菊枝 草野信子 草野富士 鯨岡トシ子 櫻庭富美 柴崎雪江 白土喜恵 瀬谷徳子 永峰榮子 西山淑子 比佐明子 戸來綾子 前田シメエ 村上千枝子 山野邊ふち 吉田泰子等

幸江 郡司榮子 小泉郁子 小岩トミエ 後藤静枝 木幡道子 小林榮 國府田ミキ 小松タツ 小松チヨ子 小湊千代子 今内美智 齊藤菊 齊藤きみる 酒井リン 坂本孝子 坂本タカヨ 作山サタ子 櫻庭富美 佐々木キミ 佐藤晶 佐藤榮子 佐藤シヅエ 佐藤フク子 佐原カネ子 四家利子 柴崎雪江 島田榮子 白井ハマ 白井美江子 白土喜恵 菅原美代 菅波チイ 鈴木綾子 鈴木木キミ 鈴木サタ 鈴木タカ 鈴木登貴 鈴木と 鈴木秀子 鈴木ミチヨ 鈴木六子 鈴木幸子 瀬谷徳子 先崎アエ子 鷹岡妙子 高萩マサ子 高橋トク 高橋ヒサ子 高原タイ 瀧シモ 田子テル 立花昌 田中キキ 棚部アヤ子 丹野テル子 筒井米子 戸倉智子 戸田潔子 富岡喜美 中村喜美子 仲納ヨネ 中村泰 永峯榮子 永山トシ

永山葉満子 新妻静子 新妻チヨ 西鴻チカ 西山淑子 新田綾子 根本多嘉子 羽岡やなぎ 箱崎松枝 箱崎ミヨ子 橋本トキ 長谷川てい 長谷川能富子 早川壽美 林知代子 端山トシ 比佐明子 久野悦 平井貞子 藤田彌代子 船山まさ子 戸來綾子 本間榮子 前田シメエ 益谷まさ子 松井しげ 松崎貞 松田豊子 松田泰子 松長道松本勇美 松本キヌミ 松本セキ 松本雅子 松本マリ子 水品敏子 川はる 宮内澄子 村上千枝子 森英子 門馬倫子 八木ミヨ子 野内愛山口ヨシミ 山野邊フチ 山本マサ 横内復 横田ヤヨ子 横山良子 吉田アキ 吉田キミ 吉田都子 吉田信子 吉田泰子 吉田英子 若松幸江 渡邊綾子 渡邊武子 渡邊幸子

後一時より松崎會川兩土木委員立會の下に左記四氏に指名入札せしめる事となつた

三森巳代松 大垣道太郎 石川徳太郎 佐々喜平

天晴れの剣士振

期待される第一校の 校内剣道大會開かる

猛練習の効あつて

既報平第一小學校講堂に昨年四月から設けられた剣道部の小剣手達は猛練習の効あつて今では体の構へから剣さばきに至る迄一廉の剣士振りとなつたので同校では来る十九日講堂に五年以上より出場選手を集め第一回校内剣道大會を催すが天晴れ末來の大剣士を憧れる小剣手にしては榮ある第一回の腕試しなので當日はこれの可憐な奮闘振を期待されてゐる

選舉權獲得から 税調申告が激増

平稅務署管内の所得稅及次營業收益稅の申告は十五日締切つたが

受付總數 は千七百七十四人で昨年より二百十八名を増加してゐる尙右の内無資格申告九百二十四人、有資格申告八百八十人で昨年の有資格の申告五百八十九人より二百六十一名の激増をみてゐる之は今秋施行される所得稅調査

委員改選の選舉資格の獲得の影響が多分にあるものとみられる

野木檢事 昨日着任さる

仙臺區才判所檢事局から榮轉された檢事野木新一氏は昨日平着午後三時十七分に着任さる

青訓終了式 六名に賞與

既報平青年訓練所本年度終了式は本日午後七時より平第一小學校に於いて青沼町長を始め町會議員其他有志參列のもとに行はれるが終了生は左記六名でいづれも

式場に於いて青年訓練所後援會賞を授與されると

岡田定次郎 荒井一郎 薄葉孝一 金子松男 吉田勝彌 大和田一二

松方露油 購入協議

自動車組合で

平署管内自動車業組合臨時總會は十八日午後一時から平署會議室に開きさきに幹部會に決定した松方露油購入の件を附議する

三人制卓球に 強剛連が參加

マルトモ運動具部主催第三回縣下三人制卓球大會は明十八日午前九時から平第三小學校に於て催されるが參加チームは遠く福島卓球俱樂部を始め強剛チーム十四チームが出場するので激戦を演ずるものと豫想される

第一及落認定 平第一小學校では本日午前九時より同校會議室に於いて校長初め主席並に各學年主任立會のもとに各學年の及落認定會を開いた

科人婦。科外 院醫坂井

町田町平 番九五五話電

久之濱に同情金 平町から金百圓

の極にある久之濱町に對して見舞金百圓を贈ることになり各區に夫々割當寄附を募集すべく本日平町長から各區長に通知した

平町では 數度の海嘯に全町 疲弊困難

平署跡町有地 門傳辯護士に落札

既報紺屋町平署跡町有地の競賣は過般の入札が見込み價格に達しない爲め昨日午後一時より更に第二回入札を行つた結果八千五百圓一坪三十三圓三十六錢餘を以て播穂小路辯護士門傳清吾氏に落札した

會議室増築 四名が入札

平町會議室は狹隘の爲め増築を行ふ事となり二十日午

産馬豫算

昨年より増額

石城郡産馬畜産組合では十九日午前十時から平町團體事務所にて評議員會を開き算決算その他十件に就

一家爆破

事件の公判 検事七年求刑

内縁の妻が實家に歸つたまゝ、歸宅せぬのを他に情夫が出來たものと誤解しダイナマイトを以つて一家を爆破せんと企て未遂に終つた復讐鬼好間村坑夫寺門二郎(三〇)に係る殺人未遂銃砲火薬類取締施行罰則違反の第一回公判は本日午前十時半より平支部に於て中島裁判長係り關口、佐藤郡山兩檢察事陪席清田檢察事立會門傳官選辯護士列席の下に開廷された事實の訊問に移り

遠藤キミヨと同棲したのは何時頃か

昭和六年頃であります人を介して迄歸宅するやうに話しても歸らなかつたと言ふが何んの理由で歸らなかつたか

お前の様な働きのない人は未見込みが立たないからと申し又親達も歸へせないと云ひました

それを恨んで皆殺しにしようと思つたのか

そうです

使つたダイナマイトは何處から手に入れたか

高坂のトンネル工事に働いてゐる時分に盗みました

と犯罪の全部を認め終つて

土地であるから今後のみせしめの爲め嚴重に處罰しないでほならないが改心して自首したのだから此点を斟酌してこの種犯罪に對する最低七年を相當と認む」と求刑正午休憩したが午後よりは門傳辯護士の辯論がある筈尙ほ既報の如くみのり會員その他傍聴人多數つめかけてゐた(午後一時記)

懲役五年 即決言渡さる

別項一家爆破犯人寺門二郎に對して中島裁判長は懲役五年を即決言渡した閉廷午後二時半

實子の非を暴き 遷信省に勝つて

味をしめたかまた訴訟
今度も子の罪我れ關せず

過般郵便貯金拂戻問題で遷信省を相手取り平支部に損害賠償の請求訴訟を提起して勝訴したのに味をしめたが高久村大字下高久字前ノ内三七鈴木太吉はまたもや本日眞木辯護士を代理人として平町大町佐川由太郎氏を相手取り平支部に損害賠償の請求事件を提起した事件の内容は昨年十一月廿五日原告の

大アグラで タンカを切る

長男貞彌が原告に無断で同村字地切六五山林一町二反一畝廿五歩の杉及び松檜立木等合計四百三本を四百圓で被告に賣渡したが右行爲は無効であると前記

東京市淺草區小谷町生れ當時住所不定無職横田左三郎(三三)は十六日午後一時頃平町北目町八雜貨商佐藤繁方の店頭を押入突然あぐらをかいて東京の淺草へ歸るのだが旅費五圓を貸せと恐喝してゐる處を巡廻中の平署



今晩も明日も北西の風晴

今晩の部

- 後六、〇〇 子供の時間
- 名作物語「イソップ物語」
- 村岡花子
- 後六、二五 基礎佛語講座
- (十八) 黒三郎
- 後八、〇〇 獨唱—名古屋公會堂より中繼藤原義江
- 後八、三〇 清元 清元延以津外

明日の部

- 後八、五〇 ウアイオリスと管絃樂
- 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告
- 前八、一〇 佛敎講座「隨喜稱名成佛決議」三味義一 忽滑谷快天
- 前九、三〇 管絃樂 東京

鑛泉宿の窃盜犯人 平館附近徘徊中に捕る

去る三日鑛崎村白泉鑛泉春木屋方に止宿中の東京市淀橋區角管町若松新之助が十八型金側時計價格百八十圓その他約二百圓を何者かの爲に窃取された事件は既報したがその後平署で調査の結果双葉郡津島村生れ窃盜前科四犯丹野忠(三三)の所爲なること判明極力行術搜索中の處十五日午後四時頃平町南町平館附近を徘徊中平署員に檢舉された

友達の家泊る 誘拐事件ナンセンスに終る

むつびを發行 平第二小學校五の三組では豫て計畫中であつた家庭と學校との連絡機關として本日騰寫刷の家庭と學校とを連絡する機關紙むつびを發行した

昨報一好間村大字北好間村椎木平居住半太郎二女尋常六年生渡邊ヨシ(一三)の誘拐事件は署員が搜索せる結果ヨシ子は歸宅後學校友達である同村字町田鈴木花三女トシ(一三)方で遊戯に耽つて居るうち夜となつたので其儘同家に宿込んで了つた爲

ラデオオーケストラ

- 前一、〇〇 講演—滿濟の再吟味—永雄策郎
- 後一、三〇 講演—日本酒精分と酒の火落しについて—大崎正雄
- 前二、〇〇 彼岸會法要
- 京都延曆寺中繼
- 後二、五〇 滿洲より
- 後一、二〇 仙臺放送局實演大會狀況仙臺中繼
- 新組歌春はうるる令明音樂會 舞踊おばこ可愛や吾妻春枝
- 浪花節—五郎正宗—浪花亭綾太郎
- 歌謡曲—香 舞踊紺屋の

おろく吾妻春枝 歌謡曲 喜代三 講談秋色櫻一輪 齊貞山 舞踊吉三 人形 吾妻春枝

- 後六、〇〇 子供の時間
- 「イソップ物語」内山憲堂
- 後六、二五 産業ニュース
- 後七、三〇 作曲者別 現代歌謡曲集 古賀政男作品 松平兒 淡谷のり子
- 後八、〇〇 新内傾情 音羽瀧富士松鶴太夫他
- 後八、三〇 義太夫 寺子屋竹本靜香
- 後九、〇五 長唄 元祿花見踊 芳村伊四郎他

御既校學藝會 平第一職員會

村御既第一小學校では此程ピアノを購入したので明日八日午前十時より同校講堂で兒童の學藝會を催すと

平第一職員會 平第一小學校では本十七日午後一時より職員會議を開き學年末の諸行事に就いて打合せを行ふと

平職案納分所報告 回人を求める方

△商店雜役 十七—二十六才迄 尋卒 月八圓

△外交員 二十一—三十才位迄 尋卒 歩合二割給

△新聞配達 二十五才以下 尋卒 月七圓位

△回職を求める方

- △土 夫 二十九才 尋卒
- △店員 二十七才 高卒
- △小使 五十三才 高卒
- △大工 二十三才 高一修
- △運轉手 二十四才 尋高

鉛劍秘及録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第百八十三回 徳川家に崇る村正

殘念ながら段違ひ

由松は石塔の前に合唱を
して

由「阿母さん、おなつかし
うございませう、嗚御無念で
ございませう、私はその
御無念を晴そうため、身
の上を包んで當家へ住込み
時の來るのを待つて居りま
すが、俱に天を戴かずとい
ふ敵に對して媚へつらい、
定めし貴女は草場の際より
腑甲斐ない奴と思召しでご
ざいませうが、どうか今暫
くおまち下さいませ、必ず
〱本懐を遂げ貴女の修羅
の妄執をお晴し申して差上
げます、南無阿彌陀佛、南
無阿彌陀佛」

と生きたる人にも言ふ
やう小聲ながら申して居る
のを、木影に立つて最前よ
り聞いて居りましたのは別
人ならず、現在敵の水五
太夫、ズカ／＼とそれへ立
出で

五「コレ、それにゐるのは
由松ではないか」

突然に聲を掛けられ吃驚
して由松、振り返つて見ると
由「オヤこれは先生でござ
いますか」

五「由松それにて何を致し
て居る」

五「ハイ何故か今晩は眠れ
ませんから、月を見ながら
庭へ出ました處、思はずこ
の墓の前へ出ました故、只
今念佛を唱へて居りまし
た」

えるな」
由「いゝえさうではござい
ませんが、ある方から伺ひ
ました」
五「イヤ誰に聞いても構は
んが、この五太夫が若氣の
過り、短氣にも斬り捨てた
女の屍、不惑故にそれへ葬
り、手向の水や花線香、供
養を致して居る、其方が親
切に念佛を唱へてやつたら
定めし佛も喜ぶだらう」
由「イヤ、エ喜ぶか喜ばぬか
顔も知らぬ他人の佛、そん
なことは構ひませんが、親
のございませぬこの私、青
二才のくせに佛いぢりが何
となく好きでございます」



存じて居るか」

由「イエそれは存じませぬ
が、何か先生に逆らいまし
たため、お手討になつた女
の墓とか申す事です」

五「それまで存じて居れば
充分、扱ては本多か、白旗
若しくは横澤に聞いたと見え

又其の方の口より聞くこと
もあらう、サア／＼夜露は
毒ぢや、部屋へ入つてねな
しやい」
由「ハイ、では先生もおや
すみませぬ」

由松心中で五太夫のため
に獨言を聞かれ、茲で返り
討ちになりやしないだらう
かと案じたが、別段そんな
様子もないから、それでは
幸ひ聞かれなかつたのかと
ホツと溜息を吐き、其の儘
部屋へ入つて臥りましたが

却々眠られず、ウツラ／＼
としてゐる中に夜も明けた
から起き出で例の通り道場
の掃除にかゝる、門弟衆が
ウンと來て稽古を始め、
いつも三人の師範代に任し
て自分で竹刀など持つた事
のない五太夫今日は珍らし
く自身に道場へ下り立つて
門弟衆に稽古をつけてゐた
が

五「由松」
由「ハッ」
五「私はまだお前に稽古を
附けてやつた事は只の一度
もない、師範代から聞くと
大分腕が上つたさうだ、今
日は私が教へてやるから支
度をしなさい」

由「有難うございませぬ」
五「コレ／＼竹刀ではない
ぞ、木刀を持て」
由「ハッ木刀でございませ
ぬ」

傍から横澤が
横「先生、まだ由松にはま
だ木刀を持たせた事はござ
いませぬので矢張り竹刀で
お稽古をしてやつて頂き度
いもので」

五「イヤ／＼拙者が由松に

木劍の稽古振りを教へてや
るのだ、だまつて見てらつ
しやい」
由「ハッ」
木劍の試合は眞劍に類す
るといふ位、打ち處に依つ
ては怪俄をするものだから
門弟達も息を呑んで見物し
てゐる、エイ、ヤツと双方
掛け合つて居りましたが

五「サア打ち込んで參れ」
由「御免」
といひながら由松が已れ

敵五太夫腦天より打ち砕い
てくれやうと、一心こめて
ボン／＼打ち込んで行つた
が、情けない哉、段が違ふ
二三合受け流して置いてピ
シリ小手を討つたから〇松
ポロリ木刀を取り落とし

「殘念」と言つて後へ退る處
を眞向へ打ち込まれた、鉢
金は當てゝあるがひどく打
たれたから、皮が破れてタ
ラ／＼血汐がながれた、由
松又「殘念」と言つて後へ退
る所を、肩先をピシリと打
込まれたからドシンと尻餅
を突いた。

市原醫院

平町 田町
電話 一一四番

皆様にはヒ、ヤシモヤケでお困りになりませんか、
熱い火や湯でヤケドなされた時でも直ぐツケますれ
ばヒブクレにならずに済みます
キリ印太乙膏があれば安心です、お試用見本無料
で差上げますからドウゾ御遠慮なくいらして下さ
い。殊にクサにはモットモ良く二、三回ツケればキ
レイに治ります。
キリ印 ヤケド キリキズ
クサド はだのアレ
太乙膏 ヒビ、あかざれ
シモヤケ たぐれ
平町古鍛冶町一〇
電話 四四番

お正月催した鮎とカキ料理デーは多大の御引
立に預り誠に厚く御禮申上ます。就きまして
は又々本日よりまぐろとカキ料理デー
を初めましたから何卒以上の御引立の程御願
致します。
さしみ山盛 御一 鮎すし 二十錢
火巻 人前 廿五錢
火井 同 十五錢
ねぎまなべ 同 二十錢
フライ 同 二十錢

魚清食堂

平二警察署裏通り
電話 六三三番

ランドセル 手提カバン

◇小學生用靴各種◇

ランドセル 大型	¥.75
ランドセル 極大型	¥.90
ランドセル 特選	¥ 3.00

ツルヤ

平・四 電一四〇